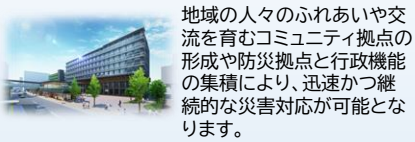


荷揚複合公共施設



地域の人々のふれあいや交流を育むコミュニティ拠点の形成や防災拠点と行政機能の集積により、迅速かつ継続的な災害対応が可能となります。

災害対策

防災部局との連携を強化し、災害対策本部との情報伝達をスムーズに行うことで、被災状況の把握や被災者支援など、速やかな対応が可能となります。



現場映像



県内で発生した災害現場の映像を収集することで、迅速な災害対策や、相互応援体制の早期判断ができる体制を構築します。これにより、市外への応援などが迅速に行えることとなります。

高所監視施設

市内の3か所に高性能な監視カメラを設置し、火災発生時の状況や台風、豪雨による浸水状況をはじめ、地震時における津波等の監視を行うことで、出動隊への情報提供や住民への避難広報がいち早く行えます。



NET119



聴覚や言語機能に障がいがある方が携帯電話やスマートフォンからインターネットを利用して119番通報を行うことができます。利用するには、利用登録が必要です。

情報共有

大分県庁と指令センターの間で、映像や画像による情報共有を図ることで、大規模災害時における緊急消防援助隊等の応援受援体制への早期移行につなげます。

あらゆる災害から住民の安心・安全を守るため

県内すべての119番通報が一元化されます！



おおい消防指令センター(イメージ)

10月から本運用開始

本市を含む大分県内14消防本部は、119番通報などを受信する消防指令業務を一元化します。これにより、大分県内のどこから通報しても荷揚町に大分市が建設した複合公共施設内に設置する共同指令センターにつながるようになります。

通報を受けた指令センターは、各消防本部が管轄する消防車、救急車に出動指令を掛けます。近年の激甚化、大規模化する災害に対応するため、広域的な連携、協力体制を構築していきます。

指令センターでは、災害現場映像の受信や、高所監視カメラ映像、防災関係機関との連携を強化するため、最新のICTを駆使して、あらゆる情報を収集し、共有できるシステムとなっています。

また、大規模な災害が発生した場合に備え、通報を受信する指令台のモードを容易に変更できる仕組みとなっており、最大で36本の通報を同時に処理することが可能です。こうした指令業務を県内で一元化し、情報を集約することで、災害対応が迅速に対応できるようになります。令和6年7月から、県内各消防本部の119番回線を共同指令センターに順次切替え、仮運用を行う予定です。

新たな通報機能の追加

新たに映像通報機能が追加されます。

これは、通報者と指令センター間においてライブ映像で「ミニ二ヶーション」を図る機能です。

通報者のスマートフォンを利用して、ビデオ通話を行いながら、現場の状況を送信してもらうことで、最適な隊やドクターカーなどを最適なタイミングで現場に投入し、効果的な現場活動につなげます。

この映像通報機能については「市報7月1日号」で、機能や通報の仕方などを詳しく紹介しますので、是非ご覧ください。

指令センターQ&A

Q 場所の特定が難しくありませんか？

A 指令センターには最新のシステムを導入し、あらゆる情報から検索できる機能を備えていますので迅速に災害場所を特定することができます。

Q 消防車や救急車はどこから出動するのですか？

A これまでとおり、各市町村を管轄する消防本部の署所から出動します。

詳しくは、大分市消防局通信指令課
(0975)222110までお問い合わせください。